

特集
氷河が教えてくれること

「氷河」と聞いて、何を思い浮かべるだろう。巨大な氷の塊がゆっくりと海に落ちていく壮大な風景だろうか。それともベンギンやアザラシだろうか。

地球上にある淡水のうち、約70%が氷河や氷山として固定されている。そして氷河は陸地面の10〜12%を占め、真水を地表に留める重要な役割を担っている。

その氷河の水はヒマラヤなどで灌漑用水や水力発電に使われているし、北半球北部の都市では多くの人々が氷河の痕跡の上で今も暮らしている。

そもそも私たちの多くは、氷河のことをあまりよく知らない。氷河と私たちの関係を、歴史も含めて読み解いてみたい。

目次

巻頭エッセイ

- 2 ひとしずく 蒼いダイヤモンド 石塚元太良

特集 氷河が教えてくれること

- 6 概論 氷河が担う水循環と未来予測—太古の記憶を留める氷 藤井理行
10 地形 「氷の世界」だった北半球の大都市—氷河地形が語りかける歴史 岩田修二
14 海外(山) ヒマラヤへの熱い眼差し—「第三の極」の氷河の今 藤田耕史
18 海外(海) 変わりゆく北極の暮らし—氷河が浮き彫りにする二面性 杉山 慎
22 降雪 日本の氷河をつくる雪—降雪のメカニズムと今後の見通し 川瀬宏明
26 国内 発見! 日本の氷河を歩いてみた
—北アルプス「内蔵助氷河」で見た水循環の原初 飯田 肇
32 未来 氷期の周期と気候変動—水月湖の「年縞」から見えるもの 中川 毅
35 文化をつくる 氷河と私たちの距離感 編集部

連載

- 36 水の文化書誌54 アフガニスタンの大地に命の水を
—中村哲の河川哲学を学ぶ 古賀邦雄
38 魅力づくりの教え15 溜池と水路と若者—小規模高齢化集落の現在 中庭光彦
42 食の風土記15 寒冷な気候と豊かな水がつくる角寒天 長野県諏訪地域
44 Go! Go! 109水系19 限られた水を使い尽くす文化の川 土器川 坂本貴啓
50 センター活動報告
51 編集後記/ご案内
(敬称略)